

Sanef とシャマン村バラニ地区、景観整備協力プロジェクトの実施に関する協定書に調印(高速 A1 号線)

掲載日	2010 年 4 月 16 日
国名	フランス
分類番号	環境
出典	Sanef(仏北部・東部高速道路会社)
タイトル	Autoroute A1 sanef et la Commune de Chamant-Balagny signent une convention pour la réalisation d' un projet d' aménagement paysager concerté le 20 avril 2010

フランス北部・東部高速道路会社 (Sanef) とシャマン村バラニ地区は 4 月 20 日 (火)、景観整備協力プロジェクトの実施に関する協定書を締結する。本プロジェクトの目的は、地元になじみの深い樹木の植栽を行い、生物多様性を守りながら、景観に与える高速 A1 号線の影響を抑制することである。

本プロジェクトは Sanef による全額負担であり、総額は 3 万ユーロである。第 1 段階では、遮断機を備えたシャマン料金所の近隣に位置する村内バラニ地区の一戸建て住宅地を対象に、高速道路が景観を損なわないよう、住宅地のすぐそばに生垣を設ける予定である。第 2 段階では、高速 A1 号線沿いに生えているポプラの成木を伐採し、在来種の樹木に植え替える。高速 A1 号線沿いのポプラ並木の伐採から、新たに植栽された在来種 (高木、低木) が成木になるまで 5~7 年かかるため、その間、第 1 段階で整備された生垣が景観保護の役割を果たす。

Sanef グループは先の 1 月 25 日、エコロジー・エネルギー・持続可能な開発・海洋省との間で、グループが管理する高速道路網の全体を対象に 2 億 5 千万ユーロの「緑の投資」を行なうことを定めた協定書を締結した。「緑の投資」の取り組みは、1) 大気汚染対策、2) 水資源保護、3) 騒音対策、4) エコデザインの推進、5) 生物多様性に対する配慮と森林資源の創生、という 5 つの分野を柱とするものである。今回の景観整備プロジェクトに係る協定書の調印は、管轄する高速道路をより緑豊かなものにし、沿線住民の居住環境を保護しようとするグループの取り組みの具体例と言える。シャマン村バラニ地区のプロジェクトでは、この地方になじみの深い常緑低木や、落葉せずに枯死する葉 (マレッセント) をつける在来種の樹木を選ぶことで、冬場も夏同様、植栽が高速道路を視界から隠すスクリーンの役割を果たすことが期待される。